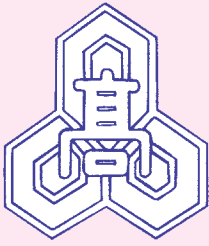


大田高校PTA広報



# 泰山木

Taisanboku

第125号

令和6年3月1日

島根県立大田高等学校  
PTA総務委員会



絵：宇田川沙紀

## 地域とともに未来を切り拓く

校長 阿部志朗

地域とともに未来を切り拓く生徒を育てる…これが、現在の大田高校の目指す学校像です。「地域とともに」という部分に、現在の大田高校が目指している思い、そして「未来を切り拓く」という部分に、これからの時代を生き抜く生徒への願いが込められています。

今、大田高校では、少人数学習や補充授業などを含めた従来の学習方法に加え、ICT教育や、ともに学び教え合う協調学習などを取り入れながら、確かな学力の育成に努め、一人一人がこれから学び続けていく土台となる力の保証を目指しています。また、保護者の皆様や地域の方々に「伴走」していただきながら、地域の課題の解決に「動く」地域課題解決型学習に取り組み、これから迫り来る現代の様々な課題を考え、自分の力で切り拓く力を育もうとしています。

今年十二月に行われたPTA研修会で、講師の浦崎太郎大正大学教授は、これからの「高い学力」とは、周囲の大人や専門家から「一緒にやろう」と声がかかる実力（高い専門性、相手と対話できる力）であり、その原動力の「おもしろい！楽しい！嬉しい！」は、保護者や地域の大人との関わりの中で実現する、と話され、大田高校の進んでいる方向を後押ししてくださいました。

卒業する三年生は、大田高校の三年間で学んだ知識や技術に加え、地域の大人との様々な関わりの中で、「地域とともに未来を切り拓く力」をしっかりと身につけているものと期待しています。本誌のタイトルの「泰山木」は、百年の長きにわたり大田の地に根を据え、大火災という困難を乗り越え、枯れずに今も大空に向かって枝葉を伸ばし続けています。その姿こそ、この不確実な時代に大田高校生が目指す姿の象徴といえるでしょう。保護者の皆様とともに、卒業生、在校生が今後大田の「泰山木」のようにこの地で吸収したことを生かし、強く未来へ向かって進んでいくことを期待して、巻頭のご挨拶いたします。

### 卒業生へ

## 贈る言葉

保護者より

### 『知ってる・できる・やってる』

山尾英和

様々な想いを胸にこの日を迎えている皆さん、新たなステージに突入です。今の世の中どうなっているのか、様々な情報が飛び交い多様化し、恐ろしい速さで変化していく世の中、この先何が大切になるかなんて全く分からない。どんな言葉を掛ければよいのか・・・、というのが正直なところです。

そこで、YouTubeで感銘を受けた『知ってる・できる・やってる』という動画を紹介します。内容は検索して見てください。そこから感じたことを贈る言葉とします。

仕事でもスポーツでも技術が大切なのは当然のことです。ただ、技術はじつとしていて身につくものではありません。技術を身につけるための行動をしなければ技術は身につけません。動画を見ても分るように、やった方がよいことは無数にあります。何が大切になるか分からない世の中だからこそ、挨拶や習慣を、技術を身につけるための技術を大切にしてほしいと思います。

『知っていて、できることは、やっ

た方が良い』皆さん、新たなステージで行動あるのみ！！卒業おめでとう。

### 卒業生のみなさんへ

山崎 美智香

高校時代にびったりの歌、歌詞のフレーズの一部です。誰にも見せない泪があった。人知れず流した泪があった。いくつもの日々を超えて辿り着いた今がある。だからもう迷わずに進めばいい。栄光の架橋へと。終わらないその旅へと。君の心へ続く架橋へと。あきらめないプレーが凄かった。県総体：大きな感動をもらいました。ありがとう。主将として最後までみんなをまとめてくれました。どの部活動も貴重な体験です。いつかやっついて良かったと思う時が必ずあります。

暑かった体育祭：今年は特に猛暑の日々の中練習時間も少なく大変でしたね。でも、全学年みんなの心が一つになり、熱く盛り上がった素晴らしい応援合戦でした！

大田高校勉強大変だったと思います。が二度とない高校時代一つの教室で学び合った仲間はいつまでも本当にいいものです。

先生、仲間との出会いに感謝し、これからの人生が明るく楽しいものになるよう応援しています。自分の個性を大切にそして笑顔を忘れず何事にも挑戦して下さい。

### 高校卒業おめでとう

稗田 恵美

高校三年生の体育祭。初めて観覧させて頂きましたが、マスクなしの弾けるようなみんなの笑顔、応援合戦が印象的でした。コロナ禍で何かと制限の多かった高校生活だったでしょうが、あなたたちにとって、この三年間は、かけがえない時間だったと思います。

また、勉強面では毎日の膨大な課題の量に心折れそうになりながら夜遅くまで、がんばられたことと思います。自分が思い描いていた高校生活、振り返ってみるとどうだったでしょうか。いろいろな逆境にも負けずに打ち勝った卒業生の皆様は本当にすごいと思います。進学や就職など様々な分野に行かれると思いますが、これからも応援しています。

最後に、息子を支えてくださった先生方、いつも傍で励ましてくれた友だちの皆さん、本当にありがとうございます。心より感謝致します。ご卒業おめでとう。



### 卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう！

山根 あずさ

まだ幼さの残る入学式から三年。卒業を迎えた今、皆さん一人ひとりがこれまでの道のりを振り返っているのではないのでしょうか。

コロナに翻弄されながらも、わくわくすることを見つけ精一杯楽しみ、時には落ち込んだり、悔しくて涙したりすることもあったと思います。

親である私もこれまでの日々を懐かしんでいる時に、ふと頭に浮かんだ曲がありました。『ぼよよん行進曲』です。娘が小さい頃に大好きでよく聴いていた曲ですが、口ずさんでいると高校生活を必死で頑張ってきた皆さんと重なって、涙が出てきました。勉強や部活で大きな壁にぶつかってくじけそうになった時、大好きな仲間や先生、家族に支えられ、最後は自分の力で乗り越えてきた皆さんへのメッセージに聴こえてグッときました。

四月からはそれぞれの場所で新たなステージが始まりますね。思いっきりジャンプして夢を掴んでください。ずっと応援しています。

『ぼよよん』とたかくとびこえてゆこうほしのしずくははじめてのあしたへとつづく』

# 卒業生からの メッセージ



## 高校三年間を振り返って

一組 三上 大智

高校での三年間はとても短く、けど充実した、ここでしか感じるこのの大きな大切な時間だったと思います。小、中ともに少人数の学校に通っていた私は、大人数の学校でうまくやっていけるか不安でした。でも、こんな僕にみんなは声をかけてくれて、たくさんの人と出会うきっかけをくれました。部活動では先輩との出会いが印象に残っています。初心者だった僕にたくさんアドバイスをくださったり、普段の練習の中でも優しく接してくださり、とても楽しく部活動をする事ができました。一緒に入部した三人や先輩達も個性豊かで、とても良い思い出です。あのメンバーで部活ができて良かったです。

## 三年間を振り返って

二組 森長 香帆

私は多くの人に支えられながら高校生活を過ごしました。所属していた吹奏楽部では、全体の中で低音パートが私一人になってしまったとき、自分の音が観客に届かず吹いている意味があるのかと不安に思うことがあったり、三年になりパートリーダーをしていたときは思い通りに練習が進まず、悩むことも多々ありました。でも、部員や先生にアドバイスをもらったり、友達から音が好きと褒めてもらい信頼してくれたりお陰で楽しく部活を終えることができました。

ダイコウラボでは、はじめは計画を立てたり、チームを統率することが難しくなかな順調に進みませんでした。ですが、地域の方による多くの支えのおかげで最後までやり遂げることができました。

今振り返ると、二年生まではコロナ禍による制約があり、十分に楽しむことはできませんでしたが、友達と大高祭が終わったあとに食事に行ったり、ダイコウラボに参加したりたくさん思い出ができました。大学生になってからも精一杯楽しみながら勉学に励みたいと思います。三年間ありがとうございました。



## あつという間の三年間

三組 高橋 里奈

私が高校へ入学した時は、周りに誰も知り合いがおらず楽しみよりも不安な気持ちが強かったです。しかし、遠足や球技大会でクラスの人と沢山話すことができ、毎日一緒に弁当を食べる、くれる友達にも出会えました。勉強を教え合ったり、休み時間のおしゃべりや購買のパンを爆買いしたことは良い思い出です。

他にも私が所属していた弓道部では、多くの経験をしました。入部したての頃は、早く上達したい一心で自主練をしたり、上手くいかず部活に行きたくない時もありました。それでも喧嘩して共に泣き合った仲間やライバル、励ましてくださった顧問やコーチのおかげで最後まで続けることができました。とても感謝しています。可愛い先輩や他校の選手とも同じチームで戦うこともでき、充実した日々でした。大会では、技術面だけでなく、プレッシャーの中で戦いで精神的にも鍛えられたと思います。

今となって振り返ると、三年間はあつという間だったと感じます。苦しい勉強や部活もまた今しか出来ない時間だと思えます。沢山の人の関わり、何事も挑戦することが自分を成長させてくれます。私もこれから始まる大学生活をめいっぱい楽しみたいと思います。三年間ありがとうございました。

## 三年間を振り返って

四組 松浪 優花

初めて親元を離れて過ごす高校生活。一年生の時は、不安もありましたが新しい生活がとても楽しかったです。友達ができるか不安でしたがクラスメイトが話しかけてくれたことをとても鮮明に覚えています。

それからの日々はあつという間に過ぎ去っていきました。入学してすぐにあつた遠足、正直このタイミングは早すぎではと思っていました。色々な人と話せて良い機会になりました。運動部はハードで勉強との両立が大変だと聞いていたので、初めは部活に入らないうつもりでしたが、バレー部の人が声をかけてくれ、やるなら最後までやろうと思ひ、入部しました。部活は大変でしたが、定期テスト前一週間は休みなのでそこで集中して勉強をすることがメリハリをつけられるようになりました。そして大高祭では、三年間一緒に過ごしたクラスメイトと最高の思い出が作れました。

思い返すと、高校生活が充実していたのは周りの支えがあったからだと思ひます。部活の送迎は友達の保護者にして頂いたり、寮で体調が悪くなつた時は寮生が気にかけてくれたり、先生方が病院まで連れて行ってくださったりしました。また、クラスメイトとは他愛ない話をする事で元気をもらえることもありました。親元を離れたことで家族の大切さ、日々の当たり前は当たり前ではないことを改めて学びました。四月からの大学生活、自分の選んだ道に自信を持って進み続けたいと思ひます。

## 自分はどうしたいのか

三年一組 担任 安藤 祥汰朗

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんが大田高校に入学してから卒業までをともに過ごせたことは、私にとって光栄なことだと思います。お互いにやさしさをもって接し、ともに支えあいながら学校生活を送っているみなさんを見て、「生徒のみんなががんばっているのだから自分も」と思い、この三年間、元気をもらいながら過ごすことができました。ありがとうございます。

みなさんの門出に対して私が贈りたい言葉は、「自分はどうしたいのか」と問い続け、覚悟をもってやりたいことに突き進んでほしい」ということです。私は地元宮崎で教員としての勤務をスタートしました。その頃は、いつも先生方に「どうしたらいいですか」と聞いている日々を送っていました。そんな時、とある先生から「安藤先生はどうしたいのか、報・連・相も大事だけど、まずは自分がどうしたいのかを考えて、相談するのが大切だ」と言われました。そう言われた私は、子どもた

ちのために教員としてやりたいことを考えるようになりました。人はいつしか、周りからどう思われるか、そして、周りとは歩調を合わせないといけないというのとらわれすぎて、「自分がやりたい」ことを忘れてしまうことがあると思います。しかし、みなさんには、「人がどう思うか」だけにとらわれず、覚悟をもって自分の人生を自らの意思で歩んでほしいと思います。

これからの人生は、いままでのように大人が見守って支えてくれる場面は少なくなってくるでしょう。しかし、勉強、部活、行事などで活躍してきた中で培ったものがみなさんにはあります。この培ったことを糧に、みなさんが自分の考えをもってこれからの人生を切り開いてくれることを願っています。

## 困難を耐え抜く強さ

三年二組 担任 原 資子

香港の武術家で俳優でもあるブルース・リーの言葉に、「簡単な人生を願うのはやめる。困難を耐え抜く強さを願え」というものがあります。誰も苦しみたくないし失敗もしたくない。だから挑戦を避け、手に入るもので満足しようとしてしまいます。それは必ずしも悪いことではないでしょう。でも

自分の本当になりたいことを諦め、自分の気持ちに嘘をついているのであれば、悲しいことです。時には苦しいことに立ち向かい、自分の将来を切り開く努力を続けていくことも大切だと思います。私は物事がうまくい

かず挫けそうになったとき、敢えてこの言葉を思い出し、自分自身にも一度問いかけて後悔しない選択をするよう心掛けています。

今年は無曾有の天災や人災で幕を開けました。予想を超える出来事が、ある日突然やってくるということを、多くの人が感じたことと思います。私たちが生きていく中で、多かれ少なかれ困難に出会います。でもそれを乗り切るための強さを磨いていきましょう。課題を解決するための知識や知恵、人と協力していくこと、実現させる行動力など、高校生の間に培ったこれらの力は、困難を乗り越える強さの源であり、大人になっても伸ばしていくことができます。また物事に前向きに真摯に向かっていく人は、必ず応援してくれる人に出会えるはずです。そして次はあなた方が誰かを応援し、助ける人になっていくことでさらに輪を広げ、大きな困難に打ち勝っていきましょう。今日はこれからの人生の始まりの日です。みなさんが自分の将来を自分の力で切り開いていくことを願っています。



三年担任

新たな旅立ちに向けて



# 新たな旅立ちに向けて

## 人生のフォロワーを

### 増やそう

三年三組 担任 青木 大晟

皆さんには、何人のフォロワーがいますか。SNSであれば、フォロワー数を見ればすぐにわかりますし、「フォロワーリクエスト」や「いいね」の数を見れば、自分をフォロワーしたい人の数や投稿内容の評価、閲覧数等をすぐに把握することができますね。では、実際の社会生活ではどうでしょう。フォロワーとは言い換えると、自分を応援してくれる人、支えてくれる人だと思えます。皆さんはこれまでの人生で、保護者の方や友人、地域の方に、さまざまな場面で応援され、支えられてきたことと思います。晴れて大田高校卒業を迎えることができた今、あなたたちの人生のフォロワーに、感謝の意を伝えてほしいと思います。そして、これから始まる新しい生活を充実したものにしたいためには、人生のフォロワーを今以上に増やしていくことと、そのための取り組み方や過程（生き方）がとても大切であると考えます。皆さんの進学や就職に際しても、沢山の

の期待や応援の気持ちが進められています。その思いに応えるような努力や学びを続けていってほしいと強く願います。そして、これから始まる新しい出会いのひとつひとつを大切に、「おかげさま」という思いを忘れずに

「おかげさま」という思いを忘れずに 各々の目標や夢の実現に向けて、しっかりと進んでほしいと思います。過去に感謝・現在に勇氣・未来に希望。操作できるのは「現在」だけです。新たな道での活躍を、皆さんの人生のフォロワーの一員として応援し続けています。ご卒業おめでとうございます。

## 未来へ羽ばたく皆さんへ

三年四組 担任 宮内 直美

3年前の春、皆さんの入学と同時に大田高校に転勤してきました。新しい町で暮らし、初めての学校に勤務することに少し緊張して



入学式(令和3年度)

しましたが、入学式の日に皆さんの希望に満ちた姿を目にしたとたん急に心が軽くなり、「一緒に頑張っていこう！」と強く思っていました。皆さんと共に1つずつ学年を上がり、様々な思い出を共有できたことを本当に嬉しく思います。この3年間で大きく成長し、大人びた表情になりましたね。長い人生の中で、高校3年間は短い時間に過ぎないのかもしれないが、心が柔らかくたくさんのことを吸収でき、これからの人生を支えてくれる宝物のような時間なのでは

いでしょうか。高校時代の思い出を胸に、これからの人生を歩まず、たくましく歩んでいってください。未来へ羽ばたく皆さんに伝えたいことがあります。それは、人生で何かの選択を迫られた時に、自分が成長できる道を選んでほしいということです。人間には弱い一面があるのでどうしても楽な道を選びたくなる時があると思います。しかし、「こつちの道に行けば、大変だろうな。でも将来自分が成長でき、幸せになれるだろうな」と思える道を選んでほしいのです。目標に向かい、一生懸命に没頭すること、努力することは素敵なことです。努力が常に報われるとは限りません。しかし、努力を続けられる人は輝いていて、周りの人の心を動かす力を持っているのではないのでしょうか。自分が夢中になれることを見つけ、幸せな人生を歩んでいてほしいと心から願っています。自分の心に正直に、自由に、広い世界へと羽ばたいてください。どこにいても、皆さんのことをこれからもずっと応援しています。ご卒業おめでとうございます。

# 【学校評価アンケートの結果について】

令和5年度学校評価アンケートの実施に際しましては、生徒の皆さんおよび保護者の皆様にご協力いただき、大変ありがとうございました。今年度のアンケートの結果につきまして概要をお知らせいたします。

本アンケートのねらいは、今年度における本校の教育活動全般について、生徒・保護者・教職員がさまざまな項目で評価し、次年度の目標を設定し、より充実した教育活動を計画していくことにあります。

今後はこのアンケートの結果をふまえて、各分掌・学年会等で反省と改善策を検討し、学校運営協議会を経てまとめていきます。その内容につきましては、後日ホームページ上にて公表いたします。

## 令和5年度 大田高校に関する生徒によるアンケート（全学年：350名回答）

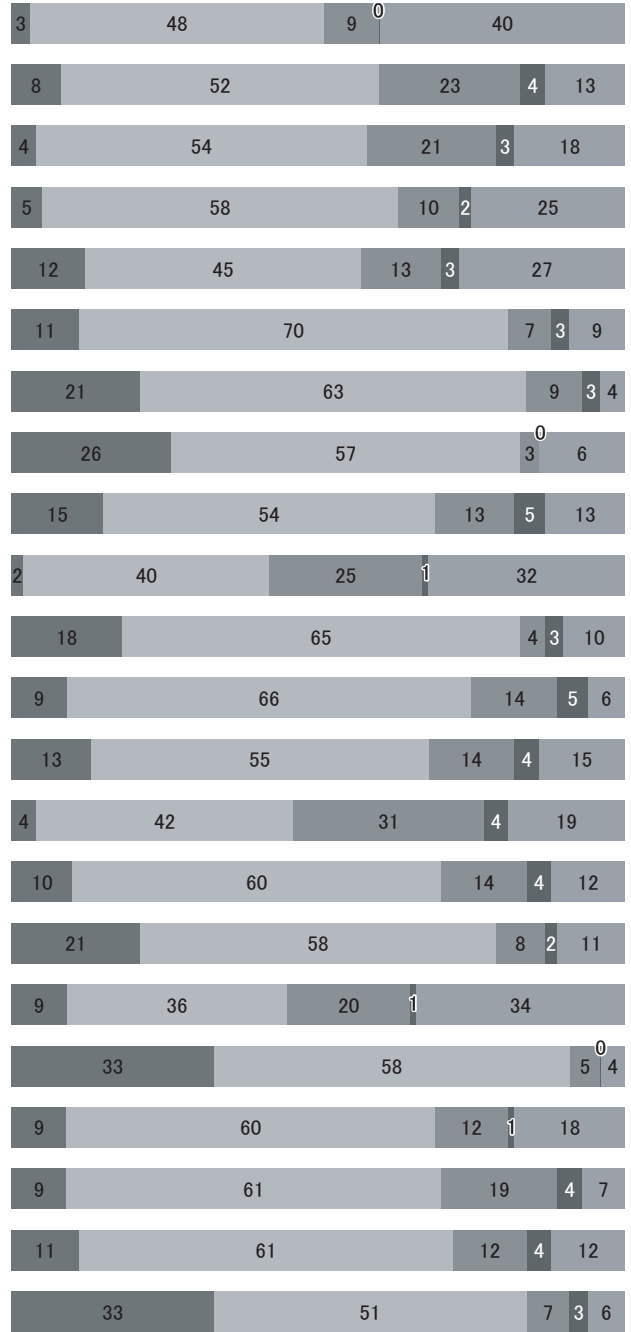
■とてもそう思う (4) ■だいたいそう思う (3) ■あまりそう思わない (2) ■全くそう思わない (1) ■わからない (0)

評価項目	平均	(%)
1 本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.8	9 56 22 4 9
2 地域に係る活動（探究学習など）を通じて地域への理解や愛着が深まりましたか。	3.0	23 57 12 3 5
3 IT教育（プログラミング学習やIT講演会）を通じてITへの理解や興味が深まりましたか。	3.0	18 57 19 2 4
4 協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて深い学びをすることができましたか。	3.4	42 52 4 1
5 本校は、教室内にあるICT機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	3.6	61 35 2 1 0.5
6 本校は、自分から「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちにえていますか。	3.2	32 59 5 2 2
7 宿題・課題等に取り組むことが、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.3	37 51 8 2 2
8 本校の図書館は利用しやすいですか。	3.3	40 40 8 3 9
9 本校の図書の蔵書構成（自分が読みたいくなるような本、調べ学習に役立つ本等）は充実していますか。	3.3	32 45 5 1 17
10 「図書館だより」などの広報誌の配布、出張図書館や展示の掲示は、読書への興味関心につながっていると感じますか。	3.0	24 50 17 3 6
11 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.3	38 53 6 2
12 本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	3.2	34 42 8 2 14
13 本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。	3.3	40 48 7 2 3
14 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	3.1	26 47 13 2 12
15 本校の進路講演会や学年集会等を通して得た進路に関する情報は役に立っていますか。	3.3	37 55 5 1 2
16 本校のキャリア教育（進路学習）を通して、自分の将来について考えることができましたか。	3.2	31 58 7 1 3
17 放課後補習・夏期補習（3年対象）や休日講座（模試対策型）は学力向上に効果がありますか。	3.1	31 48 9 4 8
18 大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	3.0	19 45 15 3 18
19 本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.4	45 46 3 1 4
20 本校では、スクールカウンセラーに相談できることを知っていますか。	3.5	55 31 6 2 6
21 本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。	3.2	30 55 8 2 5
22 あなたの健康管理・維持への本校の対応や指導は適切ですか。	3.3	37 52 5 1 5
23 人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができましたか。	3.4	46 47 4 1 2
24 本校は相談しやすい学校ですか。	3.1	23 56 11 3 7
25 学校生活を通して自分のことを理解してもらっていますか。	3.2	27 59 6 2 6
26 総合的に見て、本校に入学して良かったですか。	3.1	30 52 11 4 3

# 令和5年度 大田高校に関する保護者によるアンケート（全体：113名回答）

■とてもそう思う (4) ■だいたいそう思う (3) ■あまりそう思わない (2) ■全くそう思わない (1) ■わからない (0) (%)

評価項目	平均
1 本校のグランドデザインがどのようなものかを知っていますか。	2.9
2 本校は、地域に係る活動（探究学習など）を通じて、お子様の地域への理解や愛着を深めていますか。	2.7
3 本校は、IT教育（プログラミング学習やIT講演会）を通じて、お子様のITへの理解や興味が深めていますか。	2.7
4 本校は、協調学習（ジグソー法やペアワーク、グループワークなど）を通じて、お子様に深い学びを提供していますか。	2.9
5 本校は、教室にあるICT機器（プロジェクター、タブレットなど）が活用されていますか。	2.9
6 本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに添えていますか。	3.0
7 宿題や課題等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	3.1
8 服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	3.3
9 本校の部活動において、現在の活動内容に満足していますか。	2.9
10 本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	2.6
11 本校の保護者向け進路説明会等を通じて、進路に関する情報は得られましたか。	3.1
12 本校のキャリア教育（進路学習）を通して、お子様が自分の将来について考えるようになりましたか。	2.8
13 放課後補習・夏期補習（3年対象）や土曜補習は、お子様にとって有意義なものになっていますか。	2.9
14 本校のPTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	2.6
15 大田高ホームページ・「泰山木」を通して、学校の様子は伝わっていますか。	2.9
16 本校は、生徒の安全確保（避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど）を適切に行っていますか。	3.1
17 本校における、スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	2.8
18 本校が通知したお子様の定期健康診断結果等の情報は役立っていますか。	3.3
19 お子様は、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高めることができていますか。	2.9
20 本校は相談しやすい学校ですか。	2.8
21 本校は生徒理解に努めていますか。	2.9
22 総合的に見て、お子様を本校に入学させて良かったですか。	3.2



## 委員会活動報告

教育支援委員会 小倉 和之

今年度の教育支援委員会は、体育祭でのスポーツドリントクの仕分け作業、交通安全運動に併せての交通立哨、ロードレース大会での見守りを行いました。コロナが終息に向かう中、委員の皆様、先生方のご協力により、例年より多くの活動に参加する事ができました。ありがとうございました。

研修委員会 森 さつき

今年度は、大正大学地域創生学部 浦崎太郎教授を講師にお招きし、「『これから』を生きる子どもたちに『今』大人ができること」と題し、ご講演をいただきました。「保護者として、また地域の大人として、子どもたちとどう向き合うのか」を考えるよい機会になったと思います。ご来場いただいたみなさま、お忙しい中ありがとうございました。

総務委員会 恒松 勝

本年度の総務委員会では広報誌「泰山木」を例年通り2回発行させて頂きました。委員会では話し合い生徒の活動をより多く掲載する広報誌につとめました。原稿のご協力を頂きました生徒、保護者の皆様、先生方ありがとうございました。そして広報誌作成にご尽力頂いた安藤先生ならびに委員会の皆様、本当にありがとうございました。



校内ロードレース



2学期球技大会



探究学習成果発表会



### 編集後記

三年生の皆さん、保護者の皆さん卒業おめでとうございます。いろいろな制限のあった生活の中、時には苦しい思いをした事もあったのではないのでしょうか。友人と共に悩み、工夫して過ごしてこられた事はとても大きな力となっていると思います。泰山木を通して、皆さんの生き生きとした輝く姿や活躍されている様子を、知る事ができ、とても嬉しく思うと共に、それを多くの皆さんに届けたいと感じました。これからそれぞれの目標に向かって、一歩ずつ歩み進め、更に輝いてください。  
(大石三由紀)

子どもが成長し、学校の様子を直接聞くことが少なくなるのは仕方ないことではありますが、やはり親として学校行事や部活動での生徒たちの様子や思いを知りたいと感じておられる保護者の方も多々と思います。そこで、できるだけ多く生徒の様子や思いを発信できるように今年度、PTA会報の構成を工夫していただきました。いかがだったでしょうか。  
「泰山木」発行にあたりご協力いただいた保護者の皆さま、生徒のみなさん、日頃より温かいご指導をいただいております。先生方、ありがとうございます。  
(川上賢弘)

晴れて卒業を迎えられた三年生・保護者の皆様おめでとうございます。学校生活の大半がコロナ禍にあつて、何かと制約を受けての活動で歯がゆい想いもあつたかと思えます。大田高等学校で過ごしたかけがえのない日々の思い出と希望を胸に新たな世界へ旅立とうとしていらっしゃる皆さんにエールを贈ります。そして今日までご指導いただいた先生方大変ありがとうございます。心より御礼申し上げます。  
(森原健次)